

「地域貢献応援プラットフォーム(仮称)」運營業務委託仕様書

1 件名

「地域貢献応援プラットフォーム(仮称)」運營業務

2 目的

阪神・淡路大震災を経験している神戸では、困っている人がいれば手を差し伸べるという文化が醸成されている。一人の力では形にできないが、複数の力になれば支援の形となることもある。

市民(企業・NPO 等を含む)が参加できる「地域貢献応援プラットフォーム」を設置し、コーディネートすることにより支援の輪を広げ、市民の手による地域課題解決を進める。

3 概要

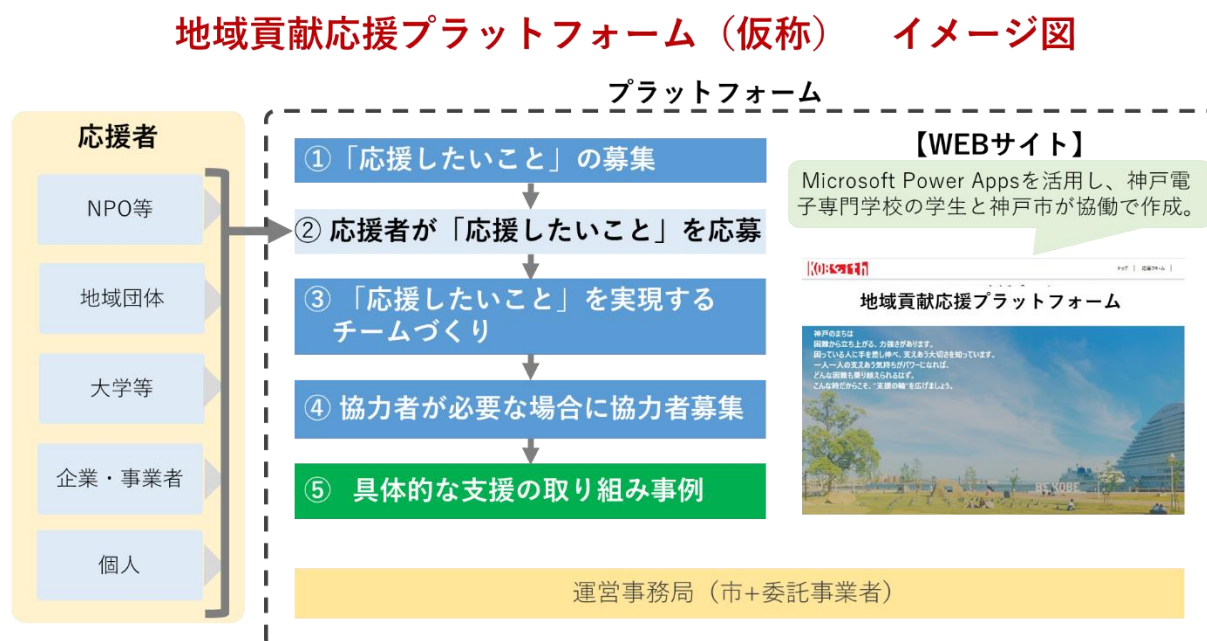
「困っている市民」に対して“応援したい”という気持ちを「応援したいこと」として募集し、これらを整理し、協力者探しなどのマッチングをすることにより、具体的な支援の取り組みにつなげていくプラットフォームを運営する。

3.1 「応援したいこと」の想定活動

共助の精神で、市民または団体自らが「応援したいこと」を主体的に行い、他者との協力のもとで実現可能な活動。

3.2 「地域貢献応援プラットフォーム(仮称)」イメージ

【図1】



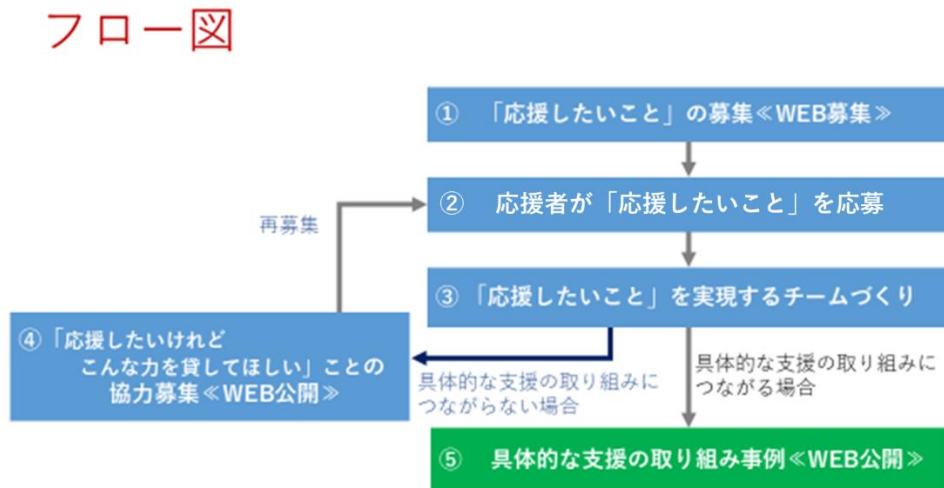
- ・「応援したいこと」を実現するためのチームづくり(協力者探し)を行い、具体的な支援の取り組み(プロジェクト)につなげていく“プラットフォーム”を WEB 上に構築する。なお公式ホームページは Microsoft Power Apps を利用して神戸電子専門学校と神戸市が作成したものを使用する。
- ・ 応援者は「NPO 法人等」「地域団体」「大学等」「企業・事業者」「個人」を想定。

3.3 活動期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

3.4 業務フロー

【図2】



- ① 「応援したいこと」の募集 《WEB 募集》
 - ・ SNS 等を活用し、応援者に届く効果的な広報を行うことにより「応援したいこと」を募集する。
 - ・ 様々な人を巻き込む工夫をし、支援の輪を広げる。
- ② 応援者が「応援したいこと」を応募
 - ・ 「応援者」(図1参照)がメール等で「応援したいこと」を応募。
- ③ 「応援したいこと」を実現するためのチームづくり(協力者探し)

チームづくりについて、以下を想定。

 - ア) 「応援したいこと」同士でプロジェクト化できる場合。(⑤へ)
 - イ) 上記ア)でプロジェクト化できない場合は、WEB で協力者を募集する。(④へ)
- ④ 「応援したいけれど、こんな力を貸してほしい」ということの協力者募集 《WEB 公開》
 - ・ Microsoft Power Apps で作られた公式ホームページについて、手順書をもとに、掲載内容を適宜更新する
- ⑤ プロジェクトの取り組み事例 《WEB 公開》
 - ・ 公式ホームページへの掲載内容を取材し、相手方と調整のうえ掲載する。

4 業務内容

4.1 「地域貢献応援プラットフォーム(仮称)」の運営に関する基本的事項

- ・ 委託期間内に 20 件程度の「具体的な支援の取り組み」(プロジェクト)の実現を目指す。
- ・ 様々な人を巻き込む工夫をし、支援の輪を広げていく。
- ・ 以下の 4.2～4.8 の業務については、より効果的な方法で実施する。

4.2 「応援したいこと」の募集及び応募者との調整

- (1) 「応援したいこと」を公式ホームページで募集する。
 - ・ 多媒体(SNS、パブリシティ等)を活用し、応援者に届く効果的な広報を行うことにより、「応援したいこと」を募集する。
- (2) 問い合わせ対応・ファーストコンタクトの対応
 - ・ 公式ホームページ、SNS、メール等での問い合わせやコメントに対応する。
 - ・ 「応援したいこと」について、必要に応じ応援者にヒアリングし、提案内容・実現可能性・類似提案の有無・協力者候補案等、対応方針を整理し、市に報告する。
 - ・ 「応援したいこと」の提案内容により、他の機関でより効果的な対応ができる場合には、応援者の了承を得て、適宜、機関の紹介と引継ぎを行う。

4.3 コーディネート業務

- (1) 「応援したいこと」を実現するためのチームづくり(協力者探し)
 - ・ 「応援したいこと」に対する協力先の検討
 - ・ 協力依頼に関する説明用資料の作成
 - ・ 依頼先への訪問およびヒアリング
 - ・ 応援者と協力者の意向の調整及びプロジェクト化へのサポート
 - ・ 進捗管理及び市への報告
- (2) 「応援したいこと」のプロジェクト化。
 - ・ 「応援したいこと」をプロジェクト化するための調整、その他付随する調整
- (3) 協力者募集に関する相手方との調整
 - ・ 協力者を獲得するための工夫をした募集
 - ・ 応援者と協力者の意向の調整

4.4 公式ホームページの掲載記事作成

- (1) 事業目的や内容、コンセプトが伝わるトップページの掲載記事を作成し、「応援したいこと」の募集を促進する。(ストーリー等のライティングを含む)
 - ・ 公式ホームページへの掲載データの収集・取材
 - ・ 掲載文の作成・編集

- ・ 掲載に関する相手方との調整
- (2) 協力依頼の公式ホームページへの掲載に関する調整
 - ・ 公式ホームページへの掲載データの収集・取材
 - ・ 掲載文の作成・編集
 - ・ 掲載に関する相手方との調整
- (3) 「具体的な支援の取り組み」(プロジェクト)の公式ホームページへの掲載に関する調整
 - ・ 公式ホームページへの掲載データの収集・取材
 - ・ 掲載文の作成・編集
 - ・ 掲載に関する相手方との調整
- (4) 「具体的な支援の取り組み」(プロジェクト)実現後の記事掲載に関する調整
 - ・ 公式ホームページへの掲載データの収集・取材
 - ・ 掲載文の作成・編集
 - ・ 掲載に関する相手方との調整

4.5 Microsoft Power Apps を利用した公式ホームページの更新作業

別途支給する手順書をもとに、公式ホームページの掲載内容を適宜更新すること。

- (1) 応援者募集の公式ホームページへの掲載に関する更新作業
- (2) 協力者募集の公式ホームページへの掲載に関する更新作業
- (3) 「具体的な支援の取り組み」(プロジェクト)の公式ホームページへの掲載に関する更新作業
- (4) 「具体的な支援の取り組み」(プロジェクト)実現後の公式ホームページへの記事掲載に関する更新作業
- (5) その他、上記(1)～(4)に付随する更新作業

4.6 公式ホームページの運用保守

別添の「公式ホームページの運用保守仕様書」により、公式ホームページの運用保守を実施する。

4.7 情報発信業務

- (1) ターゲット(応援者・協力者)に届くよう、SNS 等を効果的に活用し、月 10 回程度投稿することにより、支援の輪を広げる。また、具体的な支援の取り組みレポートを発信するなど、支援の輪を広げる工夫をする。
 - ・ 「新規応援者」獲得を目的とした効果的な広報を実施する。
 - ・ パブリシティ等を活用した効果的な広報を実施する。
 - ・ SNS 等を通じた問い合わせやコメントの対応をする。
 - ・ 記事掲載のための情報収集及び取材を実施する。
 - ・ 月 10 回程度の記事掲載を実施する。

- (2) 支援の輪を広げるために、委託期間内に1回以上の「成果報告会」を行う。成果報告会は一般に広く公開する形で行い、より多くの市民が応援者や協力者として本取り組みに参画することを目的とする。

4.8 その他

上記 4.1～4.7 の業務に係る調整業務(実施計画・進捗管理を含む)

5 業務報告

- ・ 概ね月一回程度、定例会議（オンライン開催を含む）を開催し、運営事務局として神戸市及び関係各所と情報共有をはかること。
- ・ プロジェクトの進行状況を把握するため、プロジェクトごとの業務報告を活動終了後遅滞なく市に行うこと。
- ・ トラブルが生じた場合は対応策を講じるとともに詳細を市に報告すること。
- ・ 委託期間終了後すみやかに、実施業務の内容、成果及び課題等についてまとめた業務報告書を市に提出すること。（報告書作成費も委託料に含む）

6 契約上限額

金 4,500,000 円(消費税及び地方消費税を含む)

7 契約期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

8 その他

- ・ 委託事業者は本業務を通じて取得した個人情報については、神戸市個人情報保護条例等に基づき、適正に取り扱うこと。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、業務の遂行に大きな支障が出る場合はあらかじめ市と対応を協議する。
- ・ この仕様書に明記されていない業務については、その都度市と十分協議する。